

事業の概況～事業の経過および成果等

■金融経済環境

当中間期（平成23年4月1日～平成23年9月30日）におけるわが国の経済は、震災による供給面の立て直しが進み、生産活動や輸出は回復しており、全体では一部に弱い動きがみられるものの、持ち直しの動きがみられました。

当行の主要営業基盤である高知県の経済は、サプライチェーン（供給網）の修復や復旧・復興需要の拡がり等を背景に、一部で弱い動きが継続しているものの、全体では緩やかな持ち直しの動きがみられました。

このような情勢の下、当中間期の業績は次のとおりとなりました。

■事業の経過および成果

経常収益は、金利の低下等により資金運用収益が減少したこと等から前年同期比2億61百万円減少して100億53百万円となりました。一方、経常費用は、資金調達費用は減少しましたが、与信関連費用や株式等関係損失が増加したこと等から前年同期比2億85百万円増加して87億15百万円となりました。この結果、経常利益は前年同期比5億47百万円減少して13億37百万円となりました。また、中間純利益は前年同期比11億85百万円減少して12億16百万円となりました。

■当行が対処すべき課題

当行の重要な経営課題は「収益力の強化」と「資産の健全化」であると認識し、「収益力の強化」の実現のためにトップライン収益の向上や経費削減の徹底に努めるとともに、「資産の健全化」の実現のために良質な貸出資産の増強や経営改善支援活動の強化に継続して取り組んでおります。

引き続き、当行の主要お取引先であります地域中小企業等の皆さまへの安定的かつ円滑な資金供給に努めるとともに、金融市場を取り巻く環境が変化した場合でも安定した収益があげられるよう、信用リスク管理態勢および市場リスク管理態勢の一層の強化に取り組んでまいります。

また、役職員一同が地域金融機関として求められている金融仲介機能を着実に果たし、地域経済の発展に貢献していくとともに、コンプライアンスの徹底とリスク管理態勢の強化等により経営の健全性および透明性を確保してまいります。

今後も「地域の皆さまのお役に立つ銀行」として、永続的な地域との共存を実現していきたいと考えております。

■利益分配に関する方針

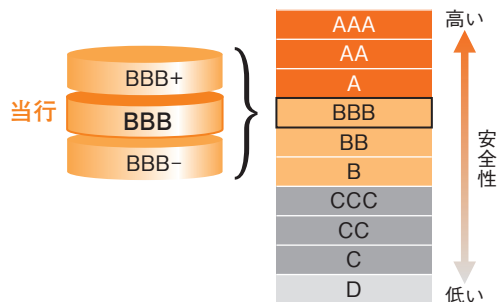
当行は、地域金融機関として公共的、社会的使命を果たすため、安定的な経営基盤の確保と健全な財務体質への強化を図るとともに、配当につきましては、フローの利益とストックの内部留保に依拠して、弾力的に配分する方針としております。

平成23年度の中間配当につきましては、このような方針の下で、自己資本の充実を図ることが適当と判断し、見送ることとさせていただきますので、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。なお、平成24年3月期の剰余金の配当につきましては、期末に1株当たり2円50銭の配当とさせていただきますことを予定しております。

■格付

高知銀行は、株式会社日本格付研究所（JCR）からの長期優先債務格付で「BBB」（トリプルB）の格付けを取得しております。

（平成23年9月30日現在）



※格付けは、利害関係のない格付け機関が企業の財務内容等を客観的に評価し、わかりやすく記号で表したものです。

※AAからBまでの格付記号には同一等級内での相対的位置を示すものとして、プラス（+）もしくはマイナス（-）の符号による区分があります。